



北恵株式会社

2023年11月期第2四半期決算説明資料

2023年7月25日

証券コード：9872

東証 スタンダード

<https://www.kitakei.jp/>

〔1〕 2023年11月期 第2四半期決算概要

■ 2023年11月期第2四半期における当社を取り巻く環境

- 国内経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行もあり、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかながら持ち直しの動きとなったが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や円安等による資源価格の高騰、それに伴う物価上昇などの経済的リスクは依然として高く、先行き不透明な状況が続いた。
- 住宅関連業界は、政府による各種住宅取得支援策の継続実施や緩和的な金融環境が下支えとなっているものの、物価高や建築資材価格の高騰に伴う住宅建設費の上昇等により、住宅取得マインドの低下が懸念され、当社の主たる市場である持家及び分譲一戸建住宅における新設住宅着工戸数は減少傾向で推移した。

■ 2023年11月期の取組み

- 引き続き地域の有力販売店やビルダー、住宅メーカー、ホームセンター、非住宅分野などをターゲットとし、既存取引先との関係強化と新規取引先の開拓。
- 工事機能のさらなる充実による外壁工事や住設工事などの工事売上の拡大。
- 環境・省エネをテーマとした住宅設備機器やオリジナル商品の拡販。
- 業務効率のさらなる向上。

■ 2023年11月期の取組み～重点商品～


- ・ 当社独自の外壁工事瑕疵10年保証
- ・ 協力業者1,065社のネットワークを生かした全国規模の工事体制


お施主様が特に重視されるキッチンやバスを、取扱メーカーの中から自由に組み合わせることが可能

施工付販売


住宅設備機器

オリジナル商品

 **SPROUT**
UNIVERSAL SERIES

 *relaxssing wood*

「住まいのトータルサプライヤー」
が提案する2つのプライベートブランド



■ 2023年11月期の取組み

当社プライベートブランド「スプロートユニバーサルシリーズ」のホームページをリニューアルいたしました。



SPROUT ホームページ
\\ リニューアルしました! /

<https://www.sprout-univ.com/>

建材商社がお届けする  とっておきアイテム!

王様さがりじゃないけれど。

QRコード

〔1〕 2023年11月期 第2四半期決算概要

■ 損益計算書

(金額単位：百万円)

2022年11月期
第2四半期

2023年11月期
第2四半期

	金額	売上高 構成比	金額	百分比	前年 同期比	計画比
売上高	29,928	100.0%	30,890	100.0%	+3.2%	△2.9%
売上総利益	2,885	9.6%	3,116	10.1%	+8.0%	+2.2%
販管費	2,471	8.3%	2,642	8.6%	+6.9%	+0.5%
営業利益	414	1.4%	473	1.5%	+14.2%	+12.8%
経常利益	504	1.7%	573	1.9%	+13.6%	+12.5%
四半期純利益	325	1.1%	390	1.3%	+20.2%	+20.3%

(注) 計画比は、2022年12月28日に公表した2023年11月期第2四半期業績予想数値（売上総利益並びに販管費については前述発表時における期初計画値）との計画対比です。

■ 品目別の主要商品

品目	主要商品
木質建材	室内ドア、クローゼット、フロア、システム収納、階段セット
非木質建材	石膏ボード、断熱材、屋根材、不燃ボード、サイディング
合板	ラワン合板、針葉樹合板
木材製品	木材構造材、木材造作材、フローリング、集成板
住宅設備機器	システムキッチン、ユニットバス、洗面化粧台、トイレ、 空調機器、燃焼機器、太陽光発電パネル
施工付販売 (メーカー施工/完成工事高)	外壁工事、住設工事、屋根工事、構造躯体工事、内装工事、サッシ工事、 太陽光発電システム
その他	サッシ、エクステリア、化成品、建築金物、建築道具
オリジナル商品	軒天破風一体型板金、フローリング、換気システム、透湿防水シート

(注) オリジナル商品は主に、木質建材、木材製品、住宅設備機器、その他に含まれております。

■ 品目別売上高

(金額単位：百万円)	2022年11月期 第2四半期		2023年11月期 第2四半期		
	売上高	売上高 構成比	売上高	売上高 構成比	前年 同期比
木質建材	3,569	11.9%	3,613	11.7%	+1.2%
非木質建材	2,440	8.2%	2,565	8.3%	+5.1%
合板	1,126	3.8%	925	3.0%	△17.9%
木材製品	1,966	6.6%	1,660	5.4%	△15.6%
住宅設備機器	6,613	22.1%	7,162	23.2%	+8.3%
施工付販売（メカ施工）	441	1.4%	526	1.7%	+19.3%
その他	2,379	7.9%	2,497	8.0%	+5.0%
商品販売	18,537	61.9%	18,950	61.3%	+2.2%
施工付販売（完成工事高）	11,391	38.1%	11,939	38.7%	+4.8%
合計	29,928	100.0%	30,890	100.0%	+3.2%
オリジナル商品(取扱金額)	1,474	4.9%	1,612	5.2%	+9.4%

【主な動き】

●ウッドショックにより供給不足や価格高騰が生じていた木材製品や合板は供給量の安定に伴う値下げなどもあり売上高・売上高構成比共に減少した。

●各種住宅取得支援策の効果や住環境改善ニーズの高まりを背景としたリフォーム需要や新築住宅需要もあり、特に重点商品として販売強化している施工付販売（完成工事高）は引き続き堅調に推移し、売上高構成比も増加した。

●住宅設備機器と施工付販売の構成比を合わせると売上高の約6割となり、当社の業績を支える大きな柱となっている。

(注) 1. 施工付販売は、仕入メーカーの責任施工により行っている工事（＝メカ施工）と当社が手配する協力工事業者により行っている工事（＝完成工事高）に分割して記載しております。

2. オリジナル商品は主に、木質建材、木材製品、住宅設備機器、その他に含まれております。

■ 事業所ネットワークと地域区分

国内 27カ所の
営業拠点

九州・中四国

岡山営業所
高松営業所
北九州営業所
福岡営業所
鳥栖営業所
熊本営業所
鹿児島出張所

近畿

滋賀営業所
京都営業所
奈良営業所
北大阪営業所
大阪中央営業所
阪和営業所
明石営業所
姫路営業所

本社

営業推進部
特販推進部
仕入部

中部

金沢営業所
岐阜営業所
名古屋営業所

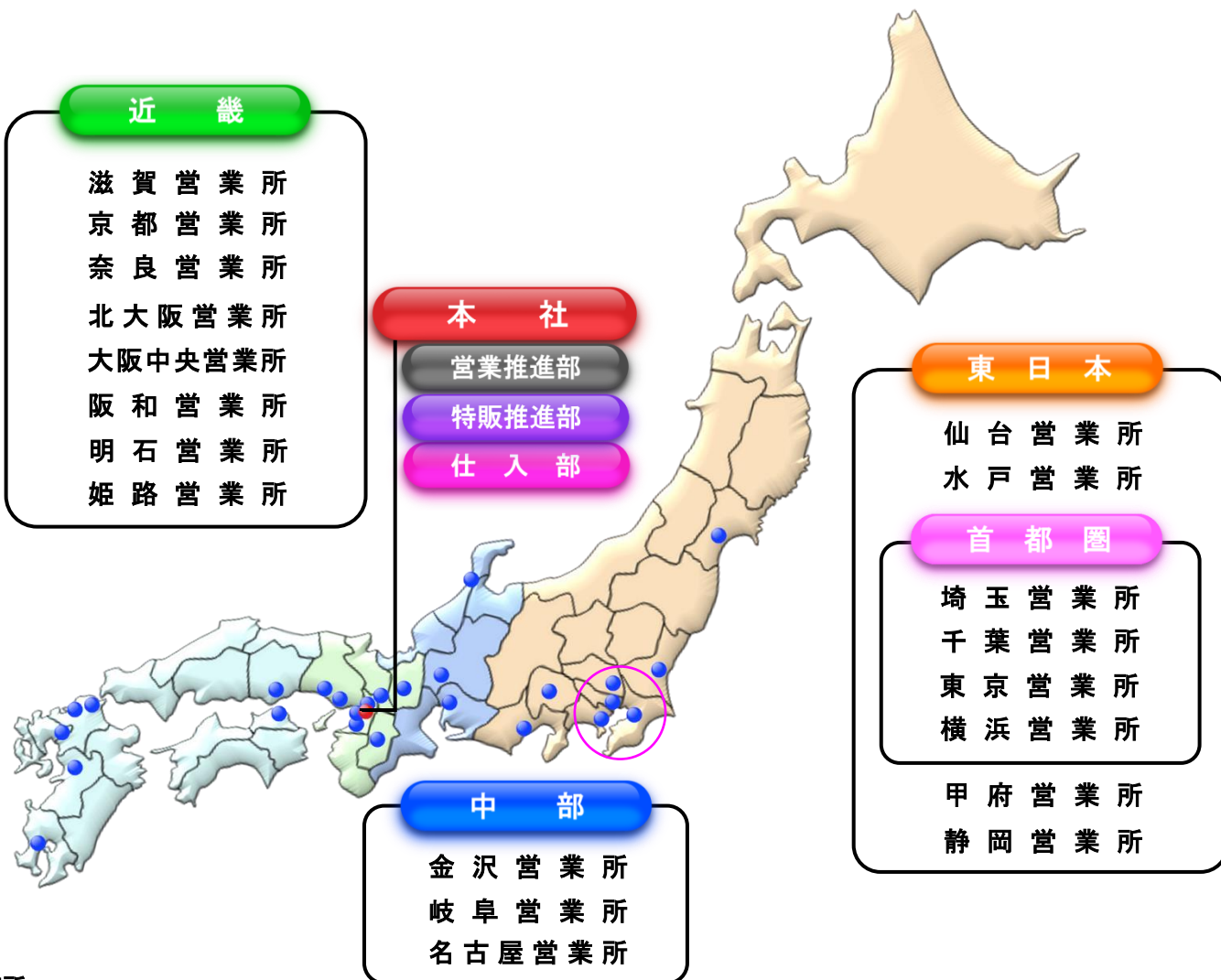
東日本

仙台営業所
水戸営業所

首都圏

埼玉営業所
千葉営業所
東京営業所
横浜営業所

甲府営業所
静岡営業所



海外拠点：ホーチミン駐在員事務所

■ 地域別売上高

(金額単位：百万円)

2022年11月期
第2四半期2023年11月期
第2四半期

	売上高	構成比	売上高	構成比	前年 同期比
近畿	10,328	34.5%	10,230	33.1%	△ 1.0%
九州・中四国	4,789	16.0%	5,260	17.0%	+ 9.8%
中部	2,705	9.0%	2,686	8.7%	△ 0.7%
東日本	12,105	40.5%	12,712	41.2%	+ 5.0%
内、首都圏	8,802	29.4%	9,328	30.2%	+ 6.0%
売上高	29,928	100.0%	30,890	100.0%	+ 3.2%

【主な動き】（前期比）

- 近畿地区：1.0%減
 増加要因：住宅設備機器5.8%増
 減少要因：施工付販売13.9%減
- 九州・中四国地区：9.8%増
 増加要因：施工付販売23.4%増
 住宅設備機器14.4%増
 減少要因：合板37.9%減
- 中部地区：0.7%減
 増加要因：非木質建材20.0%増
 減少要因：木材製品46.1%減
 合板29.4%減
- 東日本地区：5.0%増
 増加要因：住宅設備機器12.6%増
 施工付販売9.1%増
 減少要因：合板11.4%減
 木材製品18.3%減
- 首都圏：6.0%増
 増加要因：住宅設備機器18.1%増
 施工付販売8.4%増
 減少要因：木材製品29.9%減

■ 営業利益分析

(金額単位：百万円)

2022年11月期
第2四半期2023年11月期
第2四半期

	2022年11月期 第2四半期			2023年11月期 第2四半期			前年 同期比
	金額	売上高 構成比	販管費 の構成 内訳	金額	売上高 構成比	販管費 の構成 内訳	
売上高	29,928	100.0%		30,890	100.0%		+3.2%
売上総利益	2,885	9.6%		3,116	10.1%		+8.0%
販管費	2,471	8.3%	100.0%	2,642	8.6%	100.0%	+6.9%
人件費	1,369	4.6%	55.4%	1,423	4.6%	53.9%	+3.9%
変動費	625	2.1%	25.3%	718	2.3%	27.2%	+14.9%
設備費	235	0.8%	9.5%	236	0.8%	8.9%	+0.3%
その他	240	0.8%	9.8%	264	0.9%	10.0%	+9.9%
営業利益	414	1.4%		473	1.5%		+14.2%

【主な動き】

●売上総利益は、売上高の増加に加え、価格転嫁や仕入価格の交渉などを行った結果、売上高総利益率が改善したこともあり、前年同期比8.0%増となった。

●販管費は、採用強化に伴う人件費の増加や、売上増加に伴う運賃増などの影響もあり、前年同期比6.9%増となった。

■ 貸借対照表

(金額単位：百万円)

2022年
11月期

2023年11月期
第2四半期

	金額	金額	前期末比
流動資産	25,116	24,104	△ 4.0%
※1 現金及び預金	10,253	10,092	△ 1.6%
※2 受取手形、売掛金及び契約資産・電子記録債権	13,042	12,420	△ 4.8%
※2 商品・未成工事支出金	1,788	1,537	△ 14.0%
固定資産	3,581	3,629	+ 1.3%
有形固定資産	1,689	1,674	△ 0.9%
無形固定資産	164	189	+ 15.2%
投資その他の資産	1,727	1,765	+ 2.2%
資産合計	28,697	27,733	△ 3.4%
負債の部	15,881	14,776	△ 7.0%
※3 流動負債	14,908	13,789	△ 7.5%
支払手形及び買掛金・電子記録債務	13,683	12,600	△ 7.9%
固定負債	972	986	+ 1.5%
純資産の部	12,816	12,957	+ 1.1%
株主資本	12,666	12,834	+ 1.3%
評価・換算差額等	150	123	△ 18.0%
負債・純資産合計	28,697	27,733	△ 3.4%
売上債権回転日数 (日)	75.0日	77.0日	+ 2.0日
棚卸資産回転日数 (日)	10.1日	10.1日	△ 0.0日
買入債務回転日数 (日)	79.7日	79.5日	△ 0.1日

【主な動き】 (前事業年度末比)

- 資産・・・9億64百万円の減少
 - ・受取手形、売掛金及び契約資産の減少 8億57百万円
 - ・商品の減少 2億8百万円
 - ・現金及び預金の減少 1億60百万円
 - ・その他(流動資産)の増加 2億57百万円
- 負債・・・11億5百万円の減少
 - ・支払手形・買掛金の減少 11億15百万円
- 純資産・・・1億41百万円の増加
 - ・利益剰余金の増加 1億68百万円

$$\text{売上債権(※1)回転日数} = \frac{\text{期初売上債権} + \text{期末売上債権}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} ※4}$$

$$\text{棚卸資産(※2)回転日数} = \frac{\text{期初棚卸資産} + \text{期末棚卸資産}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} ※4}$$

$$\text{買入債務(※3)回転日数} = \frac{\text{期初買入債務} + \text{期末買入債務}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} ※4}$$

※4 期中日数: 2022年11月期=365日
2023年11月期2Q=181日

■ キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)	2022年11月期 第2四半期	2023年11月期 第2四半期
	金額	金額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,462	112
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 56	△ 52
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 221	△ 221
現金及び現金同等物 の増減額	1,184	△ 160
現金及び現金同等物 の期首残高	10,321	10,253
現金及び現金同等物 の四半期末残高	11,506	10,092

前事業年度末比 1億60百万円の減少

【主な動き】 (前事業年度末比)

- 営業活動によるC/F・・・増加
〔増加要因〕
税引前四半期純利益 6億11百万円
売上債権の減少額 6億22百万円
棚卸資産の減少額 2億50百万円
〔減少要因〕
仕入債務の減少額 10億82百万円
法人税等の支払額 2億32百万円
- 投資活動によるC/F・・・減少
〔減少要因〕
有形・無形固定資産の取得による支出
75百万円
関係会社株式の取得による支出 20百万円
〔増加要因〕
投資有価証券の売却による収入 44百万円
- 財務活動によるC/F・・・減少
〔主な要因〕
配当金の支払額 2億21百万円

〔2〕 2023年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に対する当社の見方

2023年11月期第2四半期 新設住宅着工戸数

(単位：千戸)

	総数	持家+分譲一戸建		マンション	貸家	
		持家	分譲一戸建			
2021年12月 ～2022年5月	412	122	72	194	54	159
2022年12月 ～2023年5月	405	109	69	179	58	165
前年 同期比	△ 1.6%	△ 10.6%	△ 3.9%	△ 8.1%	+ 6.2%	+ 3.7%

2022年12月
～2023年5月

	総数	前年 同期比	持家+分譲 一戸建	前年 同期比
九州・中四国	75	△ 2.5%	35	△ 6.9%
中部	45	△ 11.4%	26	△ 11.2%
東日本	217	△ 1.1%	93	△ 8.1%
内、首都圏	149	+ 1.0%	52	△ 7.2%
合計	405	△ 1.6%	179	△ 8.1%

●当社第2四半期決算期間における新設住宅着工戸数は、全国的に減少し、前期比1.6%減。

●当社の主たる市場である持家及び分譲一戸建住宅の合計は前期比8.1%減。

●当住宅関連業界においては政府による各種住宅取得支援策の継続実施や緩和的な金融環境が下支えとなっているものの、物価高や建築資材価格の高騰に伴う住宅建設費の上昇等により住宅取得マインドの低下が懸念され、当社の主たる市場である持家及び分譲一戸建住宅における新設住宅着工戸数は今後も減少傾向で推移するものと予想。

(注) 「建築着工統計調査」(総務省統計局)に基づき、当社決算期間及び当社地域区分にて集計しております。

■ 当社戦略

- 引き続き地域の有力販売店やビルダー、住宅メーカー、ホームセンター、非住宅分野などをターゲットとし、既存取引先との関係強化と新規取引先の開拓。
- 工事機能のさらなる充実による外壁工事や住設工事などの工事売上の拡大。
- 環境・省エネをテーマとした住宅設備機器やオリジナル商品の拡販。
- 業務効率のさらなる向上。

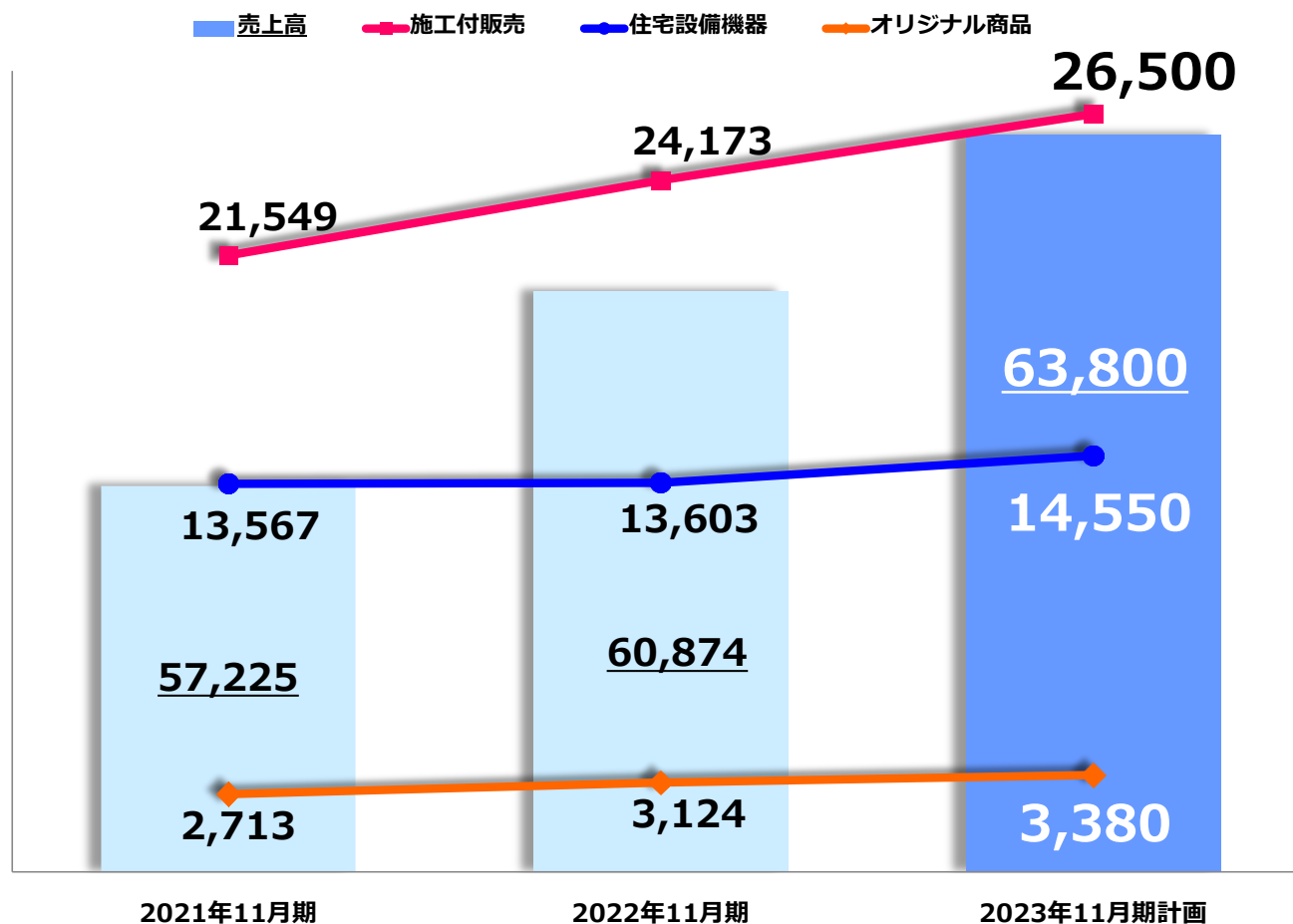
■ 業績見通し

2023年11月期

(金額単位：百万円)	第2四半期(実績)			通期(計画)		
	金額	前年同期比	計画比	金額	売上高構成比	前期比
売上高	30,890	+3.2%	△ 2.9%	63,800	100.0%	+4.8%
売上総利益	3,116	+8.0%	+2.2%	6,180	9.7%	+4.6%
販管費	2,642	+6.9%	+0.5%	5,350	8.4%	+5.2%
営業利益	473	+14.2%	+12.8%	830	1.3%	+0.9%
経常利益	573	+13.6%	+12.5%	1,010	1.6%	+0.5%
当期（四半期）純利益	390	+20.2%	+20.3%	642	1.0%	+0.1%

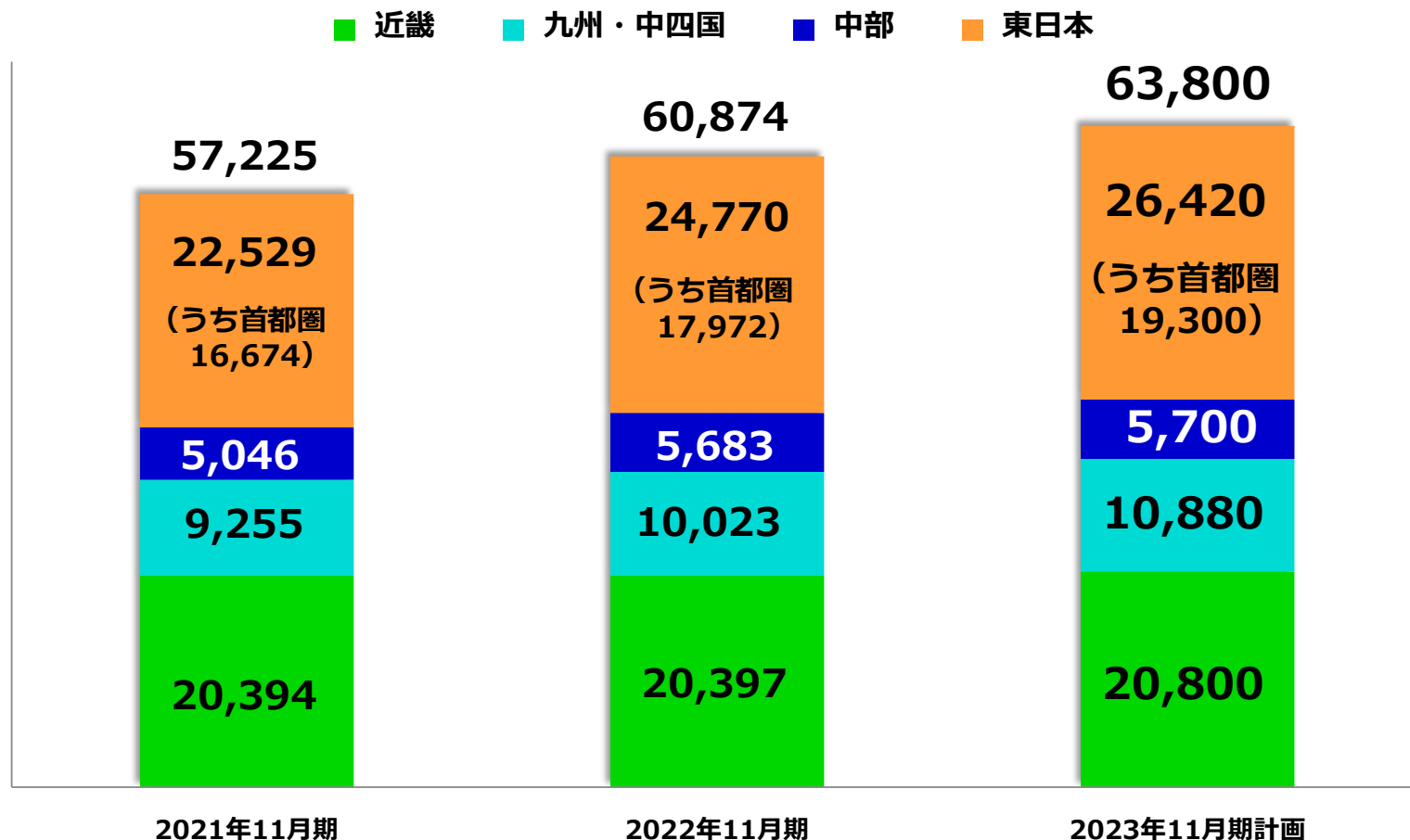
(注) 上記記載の計画金額は、2022年12月28日に公表した2023年11月期業績予想数値（売上総利益並びに販管費については前述発表時における期初計画値）です。

■ 重点商品販売実績と計画



- (注) 1. 2021年11月期第4四半期より非連結決算に移行したため、上記実績は個別実績を記載しております。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年11月期期首より適用しており、2022年11月期以降の実績及び計画は当該会計基準等適用後の数値となっております。
2. 施工付販売の数値は商品販売(メカ施工)と完成工事高を合算しております。

■ 地域別販売実績と計画



- (注) 1. 2021年11月期第4四半期より非連結決算に移行したため、上記実績は個別実績を記載しております。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年11月期期首より適用しており、2022年11月期以降の実績及び計画は当該会計基準等適用後の数値となっております。
2. 当社地域区分につきましては、本資料P.9をご参照下さい。

〔3〕 株主還元について

〔3〕株主還元について

■ 配当の推移並びに配当予想

決算期	2018年 11月期	2019年 11月期	2020年 11月期	2021年 11月期	2022年 11月期	予想
						2023年 11月期
1株当たり 当期純利益金額 (円)	58.16	62.49	78.54	69.42	69.10	69.20
1株当たり 配当額 (円)	23.00	22.00	25.00	24.00	24.00	30.50
配当性向 (%)	39.5%	35.2%	31.8%	34.6%	34.7%	44.1%

- (注) 1. 2018年11月期から2021年11月期までの実績値については、第63期有価証券報告書（提出会社の経営指標等）の記載に基づいております。
2. 2018年11月期の1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当2.00円が含まれております。
3. 2023年11月期の1株当たり配当額予想の内訳は、普通配当24.00円、第65期記念配当6.50円となっております。

〔3〕株主還元について

■ 株主優待

毎年11月20日(期末時)に、1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に、ご所有の株式数に応じて、以下のご優待を行っております。

1,000株以上



郵便局の選べるギフト
「鳥」※

※3,000円相当の商品をカタログよりお選びいただけます。
※優待画像はイメージです

500株以上1,000株未満



QUOカード
(1,000円分)

100株以上500株未満



QUOカード
(500円分)

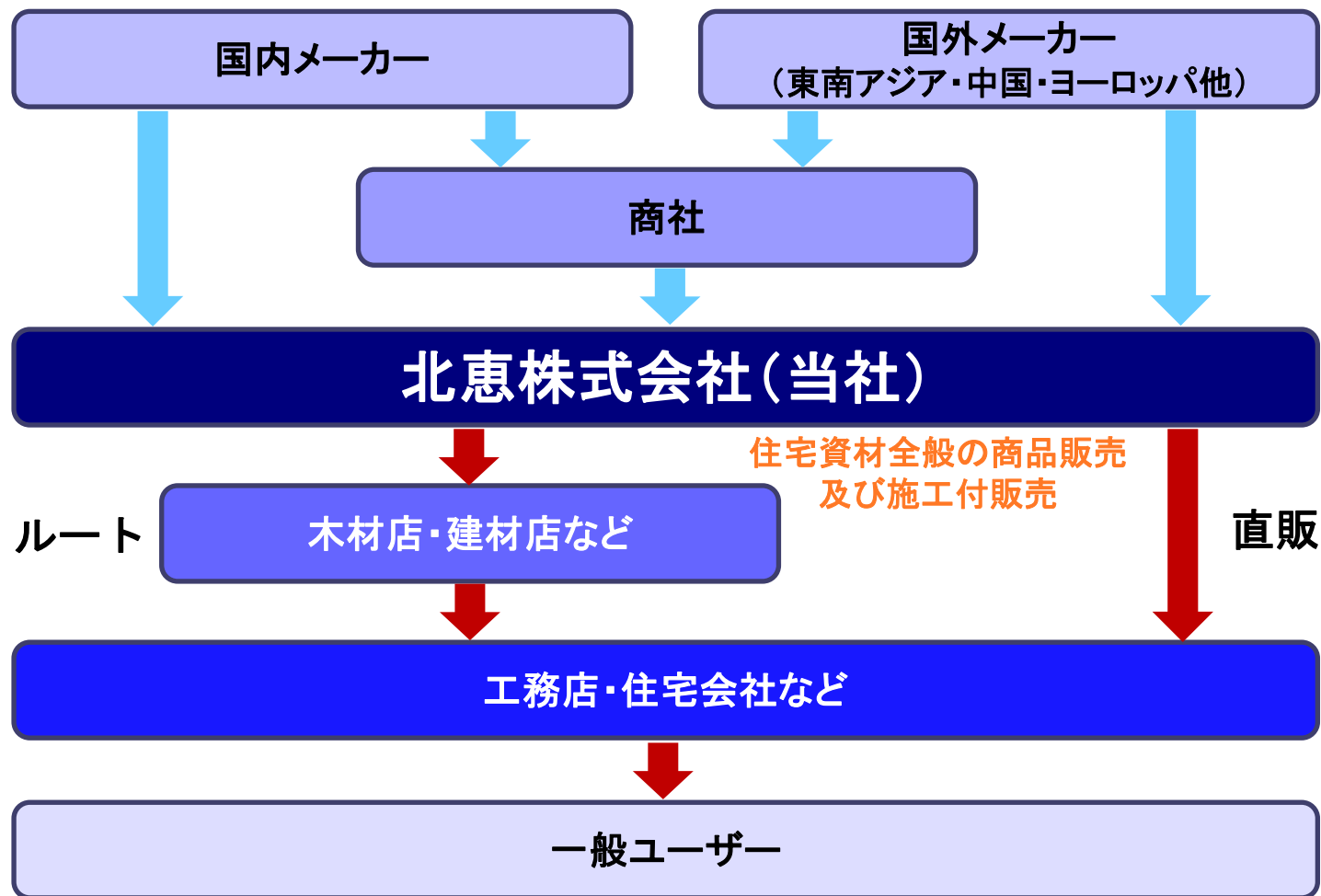
本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記まで
お願い申し上げます。

経営企画部 TEL 06-6251-1161 (代表)

本資料には、当社の業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、これらは、本資料作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

ご参考資料

■ 販売チャネル



■ 施工付販売（完成工事高）の流れ

